

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	岸和田市立新福祉総合センター	階数	地上4F
建設地	大阪府岸和田市野田町1丁目5番5	構造	S造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年6月 予定	評価の実施日	2016年1月18日
敷地面積	17,414 m ²	作成者	梓設計 永井裕太
建築面積	2,843 m ²	確認日	2016年1月20日
延床面積	7,186 m ²	確認者	梓設計 下野日出幸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 97% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 97% (92 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 97% (138 kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (スコア= 3.2)

Q2 サービス性能 (スコア= 3.7)

Q3 室外環境 (敷地内) (スコア= 3.8)

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア= 3.5)

LR2 資源・マテリアル (スコア= 3.2)

LR3 敷地外環境 (スコア= 3.2)

Q のスコア = 3.5

LR のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 ・景観に調和したデザインと、既存の植栽・植生を活かした土地利用計画 ・センターを構成する要素を3つのテラスとして創出し、周辺環境との調和を図る建物デザイン ・共用スペース(こもれびストリート・ひだまりラウンジ)を拠点の軸として連携強化や施設共用、各部門の独自性を創出	その他 ・建築工事での発生材料を少なく抑えるとともに、仮設物を少なくできるように配慮している。	
Q1 室内環境 ・こもれびストリートに吹抜やトップライトを設け、建物内に自然光を取り込む計画としている。 ・自然採光、自然通風を確保しながら、明るく快適な居住環境づくりに努めている。	Q2 サービス性能 ・各階とも、南北に延びるこもれびストリートに対して各部門が顔を向ける配置とし、利用者にとって分かりやすい空間構成としている。 ・各階に水平避難区画を設置し、区画毎に車椅子でも移動	Q3 室外環境(敷地内) ・外構緑化率約35%、建物緑化率約20%を確保している。 ・建物を低層(4階は機械室のみ)とし、敷地の現況地盤を活かした建物配置を計画している。 ・敷地境界部は現況保存、植栽等により、景観形成を図
LR1 エネルギー ・個室には全熱交換器を採用し、外気負荷エネルギーの削減している。 ・トップライトを用いた自然採光の取り入れを行っている。	LR2 資源・マテリアル ・雨水を植栽散水に利用する。 ・壁紙や床材にはエコマーク製品を採用し、躯体と内装材は分別しやすい計画とすることにより、リサイクルに寄与できるように配慮している。 ・有害物質を含まない材料(塗料、シール材、接着剤、防	LR3 敷地外環境 ・適切な量の駐車・駐輪スペースを確保している。 ・ごみ置き場を計画し、ごみ分別できる十分なスペースを確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0109

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】	建物名称	岸和田市立新福祉総合センター					
	建設地	大阪府岸和田市野田町1丁目5番5号					
	用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					4	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	
【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
	項目	評価内容			スコア	評価	
	① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.0	3	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4		
			住戸・宿泊				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.3	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.8	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
	項目	評価内容			スコア	評価	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	4	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			4.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			4.0		
その他							
	先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項		
	特に配慮した事項	屋上緑化、太陽光発電					